

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 98

事務事業名	マイバック利用推進事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境保全課		
課長名	原 和彦	内線	178
担当者名	出口 正幸	内線	143

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	環境衛生費
事業コード	050100	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	資源の節約とごみ減量のため、誰にでも簡単にできるマイバック利用を推進し、市民へ「自発的もったいない運動」を浸透させる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	マイバック利用のためのキャンペーンを市民環境連合会・女性団体等と協働として実施する。 (1)マイバック作り講習会 (2)マイバック推進キャンペーン中(10月)に大型店舗(9店舗)でマイバック持参率を調査する。 (3)もったいない抽選会場で参加者にマイバックを普及させる。 (4)不要になったキャンペーン用のぼり・横断幕等を希望者に配布し、マイバックを自分で作ってもらい、再利用に努める。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	循環型社会形成推進基本法 第5条		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① もったいない抽選会でマイバックを配布する	計画値	300	300	300	300	
		実績値	300	300	300		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① スーパー等でのマイバック使用率 (マイバック使用者数/来店者数)	計画値	50	50	50	50	実績値にあまり変動がないため計画値は当面上限50%とする
		実績値	42	42	46		
		達成度	%	84.0%	84.0%	92.0%	
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	73	0	19	30	30	30	30	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	73	0	19	30	30	30	30	
② 人件費(千円)	1,377	1,319	1,247	1,832	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.20	マイバック作り講習会・利用推進キャンペーン	マイバック作り講習会・利用推進キャンペーン	マイバック作り講習会・利用推進キャンペーン	
時間外勤務(時間)	0	0	2	4				
嘱託等人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.20				
フルコスト(①+②千円)	1,450	1,319	1,266	1,862				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市内の量販店に対しレジ袋サービスに関するアンケート調査を行ったが、回答がない店舗もあり、効果的なアンケート結果が得られなかった。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	レジ袋削減については、スーパー等でサービスが異なり、統一的な事業の推進ができていない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民にマイバックを利用させることで、レジ袋の使用量を減らし、ごみの減量化を推進することができる。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民へのマイバック利用推進は、3Rの一環として取り組み、自発的な市民運動として展開させなければならない。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大型店舗で年2回マイバック持参率を調査している。各店舗では店内放送、レジ袋不要カードなどによる買い物袋持参の呼びかけを実施されており、市民の意識向上を持続させるには必要である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地球温暖化対策であるCO2削減に向けて、一人一人が無駄な資源やエネルギーの消費を抑えることができる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	不用になったキャンペーン用のぼり・横断幕等の再利用しており、マイバックを手作りしてもらうなど、再利用に努める。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	昨年に引き続き、スーパー等でのレジ袋削減のサービスの全体を把握し、多様な削減方法を検証し、効果的な施策を検討する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。